

## 一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

### 平成 24 年度第 3 回学術集会プログラム検討委員会議事録

開催日時：平成 24 年 10 月 26 日（金） 19：00-20：00

開催場所：名古屋国際会議場 会議室 436

出席者

川上 守（担当理事）、戸山 芳昭（委員長）、田口 敏彦、吉田 宗人（委員）、  
小森 博達、紺野 慎一、徳橋 泰明、中村 博亮、持田 讓治（業務執行理事）、  
野原 裕（アドバイザー）

欠席者 永田 見生（委員）

議事次第

1. 副委員長、書記の決定

副委員長は吉田宗人委員、書記は田口敏彦委員となった

2. 資料 1 に基づき前年度ならびに前回の審議事項を確認した

3. 報告事項

1) 第 41 回日本脊椎脊髄病学会学術集会の報告

10 月 27 日開催の理事会で報告を受けることが確認された。

2) 第 42 回日本脊椎脊髄病学会学術集会プログラムの準備状況

戸山委員長が演題募集を終了した件などの報告を行った。

4. 学術集会運営素案の検討

・資料 2 に基づき財務管理・会期、開催地、会場、担当コンベンションの決定時期・プログラム内容を検討した。

財務管理、各種決定スケジュールについて原案通り承認された。

財務管理については必ずしも公認会計士である必要はなく、税理士でもよいということが確認された。

・学術集会プログラムについては、特にプログラムの継続性、学会本体主導のプログラム企画の割合について議論がなされた。

結果、「学会本体主導のプログラム企画は 3 年以上継続する」という文言を削除し、「学会本体主導のプログラム企画は全発表演題数の 10%以上とする」、「一般演題の採用率は 70%前後を目安とし、発表内容の質を維持する」ことが決定した。なお、学術集会プログラムや開催期間などの関する検討が必要な場合、臨

時に学術集会プログラム検討委員会を開催するという文言を追加した。

この内容を10月27日の第7回理事会に諮り、内容が承認されれば学術集会規程細則に記載することとなった。

- ・資料3に基づき第2回委員会となったメール審議の取りまとめ結果を報告した。

5. 資料4に基づき吉田宗人委員が第43回日本脊椎脊髄病学会学術集会の見積書を提示し、第一次予算案である旨の報告を行った。開催地は京都国際会議場であることが報告された。

6. 第44回日本脊椎脊髄病学会学術集会プログラムの準備状況  
田口敏彦委員より、福岡で開催することが報告された。

その他

- ・次回委員会は2013年1月17日（木）に日本整形外科学会専門医試験に合わせて行う。